

学校だより たぐち

佐久市立田口小学校 平成28年 12月 13号

学校自己評価に寄せられた意見より第一弾

本年度は、無記名としました。また、児童数ではなく家庭数としました。いかがでしょうか。この点につきましても、ご意見を頂ければと考えます。さて、ここでは頂いたご意見の中から、現在お答えできる内容のものについてお答えをしたいと考えます。

◎担任が詳細を家庭に報告していない。起こっていることの報告をして欲しい。

→児童の安全に関する事案や人権問題（いじめ等）に係わる内容につきましては、常時報告をしていくようにこれまでもしてきていました。しかし、学年や学級の状況によっては、毎日のように様々な問題が起きてしまうといった場合もあり、全てについてお知らせすると言うことが出来ない状況がありました。申し訳ございませんでした。こうした事が生じる場合があることもご理解頂ければと思います。また、「これはどうなっているのだろう」といった心配なことがございましたら、是非、遠慮なく担任まで問い合わせをお願いいたします。

◎友達との関わりで、困った時にその場での対応はしてくださるが、根本的解決がなかなかできていない。

→「根本的な解決」については、学校でも困難さを感じています。特に友達関係の問題は、保育園の時や低学年の時からのものも多くあり、一般的なルールやマナーで、説諭を繰り返しても「根本的な解決」に至らないことが多くあります。ですので、その時のその子の気持ちに寄り添い、その子に届く指導を心がけてきております。今後とも十二分に留意していきたいと思っております。また、学校以外の場での関わりや関係が学校生活を送る上で支障をきたしているといった面もございます。学校だけでなく保護者の皆さんとも緊密に連携していくことや、保護者間の違和感もなくして行くことが重要だと思われまます。今後とも、根本的な解決に向けたご協力をお願いいたします。



◎登下校時、児童が横に広がって歩いていて危険。学校でも注意をして欲しい。

→この事実は、ご指摘をいただき把握をしております。当該地区の児童を集めて、指導をして来ております。また、交通安全に関しては、日頃から学校全体で各学年学級でも注意をしたり、登下校を現場で指導したりしてきています。児童の安心安全は学校はもちろんですが、保護者・地域の皆

さんと共に守っていききたいと思います。ご協力をお願いいたします。また、危ないような歩き方をしている様子が見られたら、その場での声かけをお願いしたいと考えます。

◎学校で、学年ごとの行事などの連絡（用意するもの等）は、早めにしてほしい。

→多くの行事の場合には、下見が必要な場合も含め、大部以前より準備に取りかかるのが通常です。急な活動になるといったこともあり、ご迷惑をおかけしたことがあるかと思っております。大変申し訳なく思っています。お家の方も行事の準備はできるだけ早く行いたいと思っていられるので、計画や準備等にできるだけ早め早めに取り組むと共に、不都合が生じないように早めの連絡に心がけていきます。

◎学校より配布される文書、学級通信等の内容は、よく確認してから配布して欲しい。誤字、内容、担当の先生の氏名等、今年度はあまりにも間違いが多すぎ。

→日常的にまたこれまでも学校より配布される文書は、必ず複数の目によって確認するようにしている所ですが、「間違いが多い」というご指摘をいただき行ってきたことが徹底できていない様子があり残念でした。根本的な事柄ですので、誤字脱字等でご不快な思いやご迷惑をかけないように十分注意して参ります。

◎他の小学校では、毎日多くの高齢者やリタイアした人たちが旗を振って見守り隊として子どもの通学の安全を守っている光景によく出会う。前にすんでいた地域も同様であった。しかし、田口小では、地域の皆さんの見守り隊が圧倒的に少ない気がする。もっと広く声をかけて募ってはどうか。子ども、孫がいるいないにかかわらず、子どもは地域全体で守るものだと思う。

→昨年度から立ち上げた「田口っ子見守り隊」は、現在27名の方にご苦労いただいています。近くの交差点に立っていただいたり、学校までいっしょに歩いてくださったり、下校時に散歩を兼ねて見守っていただいたりと、子どもたちの安全についての見守をボランティアで行っていただいているところです。本年度も1学期の始めには、田口地区全戸に回覧をさせていただき見守り隊の募集を行ってきています。

市内の小学校に見守り隊の様子をお聞きすると、地区ごとに募集をし、PTAの皆さんも当番を決めて毎日見守って頂いているようです。「見守り隊」に関しても、PTAの皆様を含めご家族の方やご近所の方にお声をかけていただき、ご加入を進めていただけると充実していくと考えます。安心安全は、出来るだけ多くの大人が関わる中で取り組む事が重要だと考えております。よろしく願いいたします。次年度も4月当初に地域の皆様向けに募集の回覧をお願いしたいと考えております。

◎自主学習は、やっている意味がありません。

→家庭学習に関しては、学年の実態によりどのような姿が適切であるかは、意見が分かれる部分かと思えます。



取り組む時間や量についても子供たち一人一人により幅があり、適切な時間や量が見いだせない状況があります。「もっと量を出してほしい」という意見がある一方で「多すぎるのではないか」といった意見が、今回のアンケートでも寄せられてきております。一人一人の状況に応じて家庭学習を行えることができれば良いのですが、なかなかそう出来ないでいるのが現状です。家庭学習には二つの種類というか内容があると考えています。一つは、「宿題」と呼ばれるものです。この課題をやってきて下さいと出すのは教師ということになります。授業進度や授業で学習した内容について

て定着を図るためまた確実な既得の内容とするために出される課題です。もう一つは、子供たち一人一人が自分に必要だと考えられる内容（学習しているものについて）や自身の興味や関心のある事柄を詳しく調べたり聞き取ったりまとめたりするいわゆる自主学習というものになります。どの学年・クラスともにこれら二つの家庭学習を上手に組み合わせて家庭学習に取り組めるように心がけております。確実に定着させたい基礎基本の学力と自分からわかりにくい主体性を育てようという意図を持って課題学習や自主学習に取り組んでおります。ただ、学年によっては課題学習と自主学習の内容やバランスが取れていなかったり、児童によっては「学習」といえるのかと思われる内容の自主学習になっていたという状況があると考えます。これから次年度に向けて、こうした点に関して職員でよく検討し児童の実態にあったものにして行かれるように考えて参ります。

いただいたご意見の中から、お伝えしておいた方がよいと思われる内容については、私たちが願いや思いを含め、そのねらいや現状についてお話しいたしました。よりよい方向に進めるように検討をして参ります。よろしく願いいたします。

学校自己評価は、子供たちに私たち教師から出される通知表と同じ意味合いがあると思ひ、深く受け止めております。通知表に表される評価は、子供たちの頑張りやもう少しがんばったらといったこと、またその子の今の心の有り様や特性（性格的な部分や得意なことや苦手なこと、興味や関心が向いていることなど）の一部分をその段階で切り取り表現させてもらっているものです。ですから、決めつけや見方を固定しようとするものではありません。むしろ、よりよい成長を促すための資料として活用出来ればと思ひます。また、それだけではなく私たち指導する側の指導のあり方や教師一人一人が、人として子供たちの心に添えているかに行ったこと振り返るためにもあるものだと考えます。「学校」という存在が、地域の中にあり、地域の皆様に支えられている存在であり、子供たちが地域の中でも育てられているとすれば、学校があるいは職員が、いただく評価の一部は、地域の姿を写しているものもあると考えることも出来ます。様々な視点からご意見をいただくことで、子供たちが伸びやかに育つ学校のあり方に少しずつ近づいて行かれるよう、いただいたご意見は学校全体としてまた一人一人の職員が真摯に自分事として受け止め、学校の改善、成長に資して参ります。ありがとうございました。

文責 田口小学校長 滝澤 俊明